

広報



じょうめ

発行所 秋田県五城目町役場広報課編集

電話 (01885) ② 代2100番

印刷所 湖 東 印 刷 所

電話 (01885) ② 2430番

一部 5円 郵便番号 018-17

毎月 1日・15日発行

馬場目青年会合唱

歌い続けて十年目

苦しくも楽しかった思い出ばかり



小玉先生の指揮で思い出深い歌を合唱する

おあげします

八月十六日午後二時から町民センターで、馬場目青年会合唱十周年記念式典が行われた。馬場目青年会（会長伊藤栄作）が、青年会活動の一環としてとりあげたのは昭和四十六年であった。それも演劇練習の合間に合唱でもやったらどうだろうか、ということ、当時の五連青会長石井忠光さんと馬場目青会長長宮城正一郎さんが、小玉正文先生の門をたたいたのがことの発端であった。

合唱経験者ゼロからスタート

小玉先生は最初のころのことを「会員は二〇人ほどいたが、合唱の経験のある者はほとんどゼロにひとしく、歌わせてみても声はバラバラで果して合唱サークルまで育てることができたらどうかと心配した」と回想していた。

若者たちの情熱にほだされて

それでも、若者達の心意気と特有の明るさ、ムードが、次第にハーモニーの上にも現われてきたので、多少無理とは思ったが、全県青年大会文化の部に出場させてみたが、いきなり最優秀賞獲得全国大会の出場権をもぎとってきた。これには小玉先生も、嬉しいやらおどろきやらで、その情熱にほだされて十年間付き合う羽目になってしまったと述懐。

全国大会で感激の努力賞

スタートの年で好成绩を取めた合唱は、それ以来馬場目青年会のトレードマークとなり本命であった演劇活動はさっぱりとあきらめてしまった。全国大会の入賞を目標にたて練習また練習ひたすらの練習が会活動の支えにもなった。四十九年、この年は気象観測所始まって以来の記録的な豪雪に見舞われた。それでも練習は休むわけにはゆかなかった。富津内青年会の演劇も秋田県代表であった。ライバル意識が全くなかったといえようことになる。十月十七日全国大会の会場にいよいよ成績の発表である。「努力賞秋田県代表馬場目青年会」！師弟は抱き合い、涙を流し歓喜にひたった。そしてよきライバル富津内青年会の演劇が優秀賞に輝いた報に接して、仲間の努力に心から拍手を贈った。

ママさんコーラス友情出演

当日、過ぎし日の仲間達が式典に勢揃いし、現役と一緒に合唱した。目に見えない心のきずなが、ひとと追ってきた。その中には、オデン屋のこと、歌声喫茶のこと、高熱でふとんの中のこと、みんな織り込まれていた。ママさんコーラスのメンバーは連日の出勤にもめげず、友情出演して、錦（きん）上花を添えがそこにあった。

成人おめでとう

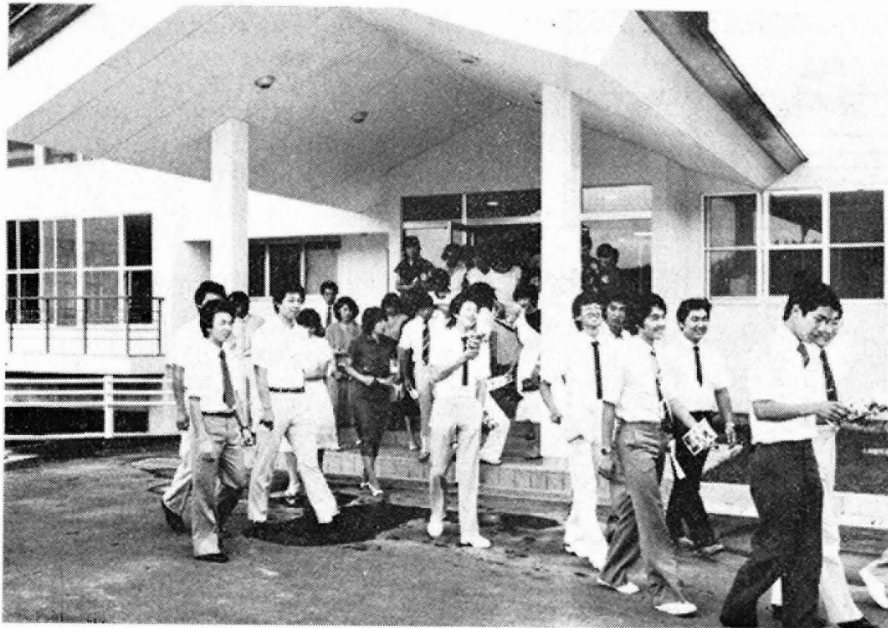
バスで施設などを見学

町内の新成人は三〇九人

新成人を祝う若人たちのつどいは、八月十五日、二百三十四人の新成人が参加して広域体育館で行われた。今年はプログラムの中心に「ふるさとめぐり」が組み入れられ、新成人たちは郷土の発展に目を輝かしていた。当町の新成人該当者は男子百五十九人、女子百五

十人である。

式典の前に行われた「ふるさとめぐり」では、三コースの中から各自が希望するコースを選んで、バス五台に分乗して町内の施設、文化財、道路などを約二時間にわたって見学した。これは、町の発展している状態を見てもいい、



赤倉山荘の見学をおえてバスに向う新成人たち

古里のよさを見直してもらおうと今年から計画されたものである。式典は午前十一時三十分から広域体育館で行われ、町民歌斉唱の後、加賀谷町長から各地区代表の男女十六人に成人証書が手渡された。

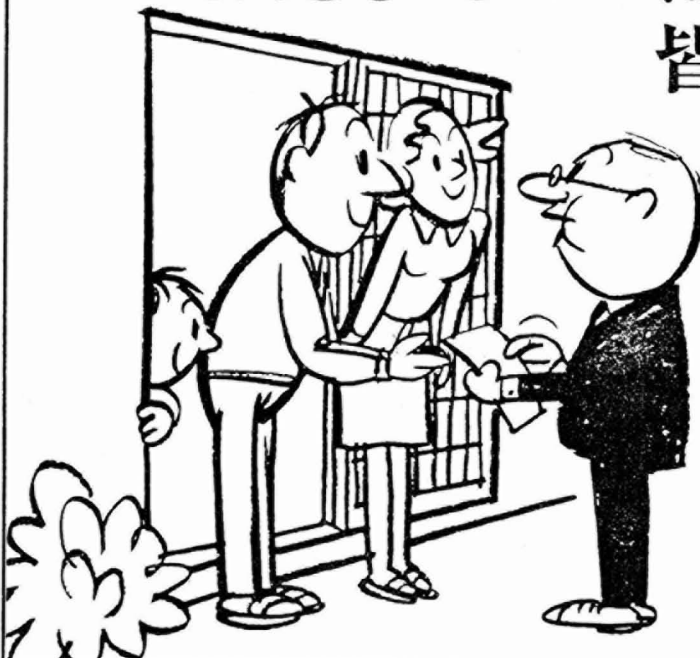
また、新成人からは町の緑化計画に役立ててほしいと記念植樹の目録が加賀谷町長へ手渡された。当日は三十五回目の終戦記念日でもあり、正午のチャイムを合図に参加者全員が一分間の黙とうを行い、戦争の犠牲になった人たちのめい福を祈った。

加賀谷町長は新成人のお祝いのことばの中で「これからはみなさんが育った時代とは違ってくる。きびしい道が前面にせまってくるが、日本人が培ってきた勤勉ととぎすまされた知性を持ち続けるかぎり、立派にその任に耐えていくと信じている」と激励した。最後に「二十一世紀を担うみなさんの活躍を期待する」と新しく成人となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする若人たちの前途を祝福した。

新成人を代表して猿田順一さん(上樋口)と伊藤ひろみさん(大川)が「私たちに若さがあります。希望があります。困難から逃避せず、自らの持てる限りの力で一つ一つ克服していくことが、私たちにふさわしい生き方と信じます」と新成人のことばを読み上げた。

また、現在町内の金融機関で働いている原田みどりさん(富田)と県外の大学に在学中の本間次彦さん(館越)がそれぞれの立場から新成人としての意見を発表したほか、山内音楽保存会による音楽披露、馬場目青年会とママさんコーラスによる合唱も行われた。

9月30日までに、調査票がお手もとに。 皆で協力、国勢調査。



「こんにちは」。伺っています、調査員。

10月1日の国勢調査を前に、いま全国75万人の調査員が、皆さんのお宅に調査票の配布に回っています。30日までは、すべての方のお手もとに届くことになっています。調査票の記入事項は、氏名、性別、生まれた年月、就業状態など全部で22項目です。調査票に記入していただいた内容をほかにも使ったり、統計以外の目的に使うことは法律で固く禁止されていますので、安心して正しい記入をしてくださるようお願いします。お仕事などで、これから自宅を留守にされる方は、お早めに、調査員にその旨をお伝えください。積極的なご協力をお願いします。



明日のため今日の日本を知る調査

国勢調査

昭和55年10月1日(水)

総理府統計局

明日のため今日の
日本を知る調査

10月1日(水)



国勢調査

新成人を祝う若人たちのつどい

意見発表

☆八月十五日の「新成人を祝う若人たちのつどい」
☆「どい」で二人の新成人が意見発表を行った。☆
☆本間次彦さん(館越)は現在東京の大学に☆
☆在学中であり、原田みどりさん(富田)は☆
☆町内の金融機関に勤務している☆
☆本間さんは町を離れて新成人を代表☆
☆して、原田さんは町内に住んでいる新成人☆
☆を代表して、成人となった感想やふるさと☆
☆について考えたことを述べた。☆

知識を実践に

館越 本間 次彦

今日ここに成人式を迎え、私も正式な社会の一員として認められることになりました。
社会の一員として認められるということは、成人としての自己の権利を大いに主張できると共に、社会から与えられる義務を当然遵守しなければならないということ



であります。
社会に対して積極的にアプローチしていくことが可能になると共に、その際の自己の姿勢に対しては大きな制約が課せられるということです。これは前者については権利と義務は民主主義社会を構成する重大な二つの要素であり、相方が相俟って初めて全きものとなるわけで、今までは自分の権利は主張しても、ともすれば御座なり

になりやすかった自分の義務を今後は特に銘記することが必要になるということです。

後者については、成人となることにより、今まで社会から一方的に庇護を受けていた自分が、社会との関係が相務的なものとなることにより、社会からの庇護を受けると共に社会の正式構成員として相応に社会に貢献することが求められるということであり、そしてその行為は当然、社会的規範を旨としたものでなければなりません。

以上述べてきたことは、中学校の公民社会であるいは高等学校の倫理社会で学んだことのおさらいのようなものですが、これを要するに今までは単なる知識に過ぎなかったものを、今後はそれを実践していくことを社会は要請し、我々にはそれに答える義務が今日から以後はあるということ。

新成人の感想はこまめでとして故郷を離れていて思うことを以下述べてみましょう。
私が郷里を離れてから一年と数ヶ月がたちましたが、故郷に対する私の考え方が特に変化したわけ

でありません。それは休暇の間相当の長期間帰省しているからでもあり故郷を離れてから日が浅いせいでもありでしょう。

無論、故郷に対する特別の感情は持っていますし、以前よりはそれは強まったかもしれません、少なくともある種の人々のように故郷をあたかもユートピアの如く理想化して考えるというまでは至りません。確かに、私にとって故郷とその思い出は甘く美しいものではあります、人間は常に甘美な思い出だけを思い出として思い出したがるということを考え合わせてみるなら、これもまた決してその例外ではありません。

この場が故郷に対して美辞麗句を連ねることも可能ではありますが、けれども、そのような甘く上ずった一面的な思いを述べることは私のいさぎよしとするところではありません。
しかし、この故郷こそおそらく私の生涯の最も幸福とも思われる十幾年を過ごしてきた所であり私という一個人の人格の形成に大きく与り、そして私が最も愛するものです。

私は一人の縁者としてこの町が変わっていくのを見守っていきましよう。

真実をみつめて

富田 原田みどり

雪国秋田にも、ようやく春の訪れを感じられる頃に、「卒業という場を幾度か経験し、そして今日二十歳を迎え、大人の仲間入を許された私たちです。
もう大人であると言われても、自分にはそれなりの準備も自覚もできていないわけですが、自分な

りに努力を積み重ね、これまで頑張ってきたことができた。これも一重に多くの諸先輩、恩師の方々の温かい愛情と御指導によるものであることに思いを達し、感謝の気持ちを深くしている次第です。



私は高校卒業と同時に、学生時代に終止符を打ち、社会人となる決意をしたわけですが、無事、地元就職できましたことを心から喜んでいます。
始めて給料を手にしたとき、始めてボーナスを手にした時、これは自分で働いて得たものだ、そして今日からは、そのお金を自分の思いどおりに使えるんだといううれしさでいっぱいになりました。

親からもらっていた時は何とも思わなかったお金ですが、自分の力で手に入れるには毎日の仕事の積み重ねがあり、それをおろそかにできないと切実に感じました。
「自分の欲しい物を自分で手に入れる」この喜びは働ける者にだけ与えられる特権です。そして今の私は、この特権を有意義に生かし充実した毎日を送れることに満足しています。

未熟な私たちを二十年という間育ててくれた、我が五城目町について、私なりに卒直に感じたことを述べていただきます。
そびえたつ森山を象徴とし、馬場目、富津内川の豊かな流れ、県内でも米産地として有名な農業、林業の町ともいわれるほど広範囲に

渡る森林資源、その上、最近の商業の発展など、目を見張るものがあります。

また、サークル活動で言えば五連青の躍進的な活動、老人の方々の積極的な奉仕活動、全町に渡るスポーツ、文化の交流、自然破壊の防止に努めるゴミ処理対策や緑化運動など、そして、何よりも青年議会の存在は、政治に無関心な私たちに、町政というものを再認識させてくれる価値あるものだと思っています。

私たちの時代といえる一九八〇年代に足を踏み入れ、一町民というにはまだまだ未熟ですが、一人の人間として各自が自らの主張を持ち、どんなささいな問題でもどう対処すべきかという姿勢で行えば、やがてはいろいろな問題の解決策を生みだし、住み良い町づくりに貢献できるのではないでしょう。

目の前の真新しいものに心を奪

秋田県の人口は何人?

国勢調査人口予想懸賞

十月一日現在で行われる国勢調査の結果、秋田県の人口は何人とするでしょうか。秋田県の人口を当ててください。

応募方法は、官製はがきに「秋田県の人口……人」と算用数字で記入し、住所、氏名、年齢、職業(学生の場合は学年)を明記し、県統計課へ送ってください。

応募は一人一枚とし、秋田県に居住する人にかぎります。

▽あて先

秋田市山王四丁目一〇一

われることなく、本来の真実というものをみつめていきたいと思っています。

自分の信ずるものが、たとえ目立たぬ存在であっても、恥じることなく、そこにかげのけのないページを築きたいものです。

そしてそうするまでの、真面目で謙虚なあるいは、地味な生き方を大切にして行きたいものです。
新成人という可能性に満ちた、洋々たる未来への門出に当たり、望みを託し、決意を新たに、また一歩前進しようとしています。

この地に生まれ、育ったことを誇りにこそ思え、この先、ここを離れるようなことがあるとしても一生忘れ得ぬものであることを約束させていただきます。

最後に、私たちのためにこのような盛大な式典を開催していただき、本当にありがとうございます。

秋田県企画調整部統計課

▽締切り 9月30日 (当日消印有効)

▽賞金

- 一等 三万円 一名
- 二等 二万円 一名
- 三等 一万円 一名
- 残念賞 記念品 十名

▽ヒント

昭和45年国勢調査人口 一、二四一、三七六八
昭和50年国勢調査人口 一、二三三、四八一人

昭和54年10月1日推計人口 一、二五〇、九六五人

税金は納期内納付に努めましょう

町税の納期内納付一〇〇%を目
標に納税者の皆さんにご協力をお
願いたします。

昭和五十五年度町税を七月末日
現在で全額完納された方々と納期
内納付している納税者諸君を
紹介いたします。完納のご協力あ
りがとうございました。

なお、八月一日から九月末日ま
でに完納された方々についても、
その後の町広報に掲載する予定で
す。

昭和五十五年度町税完納者一覧
七月末日現在

(敬称略)

▽広ヶ野 小林 忠 伊藤長一郎
小林 登 小森 博実 齊藤 廣光
坂谷秀雄 佐藤タミエ 佐々木文雄
笹村芳夫 塚本西二 内藤 栄
松田 淳 宮川正一 伊藤 武実
▽希望ヶ丘 石川登 一関四郎二
伊藤七朗 伊藤静男 大高 文夫
小玉丹治 宮城功 佐々木勇一郎
藤島俊明 川村良作 八柳清之助
児玉 高 小浜 浩
▽上田町 荒川仁市 阿部 三郎
伊藤豊蔵 川辺末吉 加藤 清
館岡俊明 谷地富蔵 猿田久美子
館岡俊明 野呂俊平
▽田町 一関勝己 館岡喜三郎
小森廣治 加藤健治 小森松之助
小玉勇治 齊藤伝蔵 齊藤三佐夫
藤原利市 館岡義雄 新谷国太郎
新谷永治 帖瀬ミツ 池内重五郎
石井南三 伊藤石雄 石川 鉄雄
川村周三 小林憲治 齊藤 勝美
鈴木正衛 鈴木美夫 長谷川国夫
平川茂樹 松橋末治 三浦美知男
▽今町 近江春之助 金田喜三郎
金沢定男 清水清孝 菊地徳治郎
原田国二 福島キク 菅沢美喜子
安田博夫 宮田昭蔵 宮田 亮一
▽川原町 佐藤 信

▽新町 渡辺 暹 石川 末吉
鎌田銀次 工藤豊蔵 菊地徳一郎
根田芳郎 笹岡利市 沢田石吉治郎
御滝誠一 米田美穂 奈良カネヨ
▽一番町 渡辺 秀 石井金治郎
石井正夫 荒川や江 泉谷百太郎
加藤仁郎 児玉タエ 小浜 ナヨ
佐藤テル 佐藤林治 佐藤孝之助
佐藤兼雄 山宮松 柳原喜一郎
本間義三 原田昭作
▽古川町 加藤龍治 川村 茂次
菊地チヨ 工藤祐作 久保市勝男
工藤太郎 小浜信義 齊藤 一郎
佐藤克己 柴田リエ 高沢 サダ
竹田武三 近野輝雄 山口久之助
山県 正 近野雄一 山口久之助
齊藤栄悦 山口義一
▽紀久米町 阿部裕 渡辺夏太郎
秋山カノノ 鎌田三郎 小清水ユミ
佐藤ミサ 佐藤妙子 齊藤 要蔵
柴田敏雄 柴田 武 高橋 富男
原田 弘 目黒鉄男 高橋 正治
佐藤義雄
▽長町 近藤清孝 齊藤 芳郎
宮田周晃
▽仲町 渡部純之助 貝田鉄三郎
金 永吉 清水清一郎 千葉勇太郎
武石二郎 福田大太郎 宮田ナラエ
六角 学
▽米沢町 荒川 誠 荒川 アサ
新谷秋蔵 伊藤幸太 伊藤勇二郎
今村マツエ 尾形秀男 今村吉郎
川村勝美 小森福治 小林 昭男
千貝久之助 山田隆 畑沢義之助
藤井勇蔵 松田通彦 藤田 ヒデ
▽築地町 渡辺悦郎 荒川 要悦
荒川要五郎 坂谷昭一 石井由之助
桜田政己 高津 昌 高沢仁太郎
渡辺倫寧 京野フサ 加賀谷四太郎
工藤貞之助 小玉良吉 小玉久之助
千田金之助 宮崎イネ 山田勇治郎
▽畑町 長沢一雄 渡辺 梅吉
▽阿部 勳 遠藤春治 伊藤三之助
加藤幸次郎 京野章子 栗山専三郎
小玉久男 齊藤一郎 坂本平三郎
米谷昭雄 沢田俊夫 対島 征
村上敦夫 山田義雄
▽新堀町 渡辺正作 渡部松之助
渡辺恭次 渡辺重治 渡辺善一郎
渡辺 威 石井 貞 伊藤 宗三
伊藤留吉 伊藤善信 伊藤三三治
加藤正義 小林静男 坂谷弘之助
坂谷博治 高沢 隆 菅原寿一郎
中村ヨス 広嶋元比古
▽昭辰町 加賀谷力司 廣瀬一美
松橋秀見
▽雀館 秋山ハルノ 石井 タカ
加藤清蔵 小玉鉄蔵 勝田勝太郎
坂谷行二 佐藤新蔵 小玉正治郎
猿田育蔵 館岡 満 俵谷 フサ
▽館町 小松正直 今井美佐緒
猿田岩蔵 高橋照夫
▽中川原 金子喜作 猿田正一郎
児玉金蔵 館岡 清 本間 羊子
三浦 玄 山田二郎
▽矢場崎 金沢喜市 近藤 義春
石井石蔵 伊藤孝治 金子 祐蔵
金子欣一 伊藤善光 北嶋光二郎
水戸貞男 小玉 進 近野 昭一
齊藤 勇 武石 正 鈴木善治郎
鈴木利雄 館岡与二郎
▽下高崎 小玉正一 小玉 吉雄
小玉正文 館岡与助 館岡辰一郎
館岡直兼 館岡正一 館岡 金蔵
館岡善一 館岡幸治 加藤 リツ
▽高崎 小玉正光 武田全三郎
武田由蔵 武田一郎
▽上高崎 館岡重一 館岡 一郎
広島樹夫
▽久保 一関修一郎 一関久米蔵
一関喜正 一関キエ 一関 吉弘
一関 実 一関タカ
▽直越 菊地喜代太郎 齊藤友治郎
▽齊藤ミツエ 齊藤四郎 齊藤喜代治
齊藤金一郎 本間サメ 本間 米吉
本間 作治 本間市郎
▽上樋口 武田光雄 武田 フミ
石村正信 米田健一 猿田久太郎
柳橋信繁 鳥井直蔵 猿田金一郎
柳橋信繁 鳥井直蔵 猿田金一郎
▽上樋口下 渡部春美 鳥井慎三郎
伊藤ハル 伊藤 誠 猿田 源吉
猿田テル 猿田鉄治 猿田 金一
猿田キヨ 猿田喜六
▽樋口 京野幸治 猿田 タミ
猿田修一 菅原鉄之助
▽岡本 小林興蔵 早坂 正堂
山山ミヨ 加藤道三 金 美智明
一ノ関龍雄 千田良次 一ノ関久蔵
千田安治 佐々木雄治 宮田金太郎
千田三郎 佐々木雄雄吉
▽野田 伊藤金蔵 小野美樹夫
小野 豊 加藤勝美 加藤一栄蔵
佐川善四郎 藤井勝夫 千田源一郎
▽浦横町 小林和雄 小野幸一郎
小野静一 小玉昭悦 加藤三三雄
近藤貞市 北嶋三郎 小野三千雄
加藤キクノ 小野博 小玉孫右衛門
小玉清一郎 近藤長市 佐藤 栄子
沢田石福司 近藤喜市 小玉 三郎
▽帝釈寺 石井福治 草皆 甚八
草皆一郎 石井由太郎
▽町村 一ノ関祐治 伊藤 貞吉
伊藤一郎 伊藤廣作 宮崎 昭男
伊藤弥一 伊藤武雄 伊藤昭一郎
伊藤鉄男 伊藤徳松 伊藤与次郎
小玉善作 齊藤幸四郎 齊藤与一郎
伊藤 栄
▽門前 石井鉄三郎 齊藤 忠一
▽蓬内台 佐々木敬次郎 石井昭
宮城三郎
▽寺庭 石井道也 石井 久蔵
石井金蔵 石井有保 佐々木鉄太郎
▽中村 青山俊悦 石井勇太郎
小玉俊一 児玉 泰 佐藤勇治郎
齊藤 健 佐藤敏男 佐藤 チヲ
佐藤 隆 佐藤恭蔵 安田運太郎
佐藤文治
▽平ノ下 金野 勇悦
▽小野台 石井 勝蔵
▽水沢 川島タツ 黒沢 勘吉
越高鶴治 鈴木善蔵 越高喜代治
▽忍地 石井武治 佐々木文吉
船木栄治郎
▽杉沢 石川良夫 石川 晴造
石川重兵衛 石川蔵治
▽下山内 伊藤五助 大石 良蔵
大石咲子 大石鉄雄 小林啓之助
小玉銀助 小玉太市
▽上山内 朝野忠治 伊藤庄之助
小林富蔵 柴田憲一 島山 翁治
島山春三
▽富田 石井孫一 石井 英世
島山ミネ 原田留松 原田ハギエ
原田賢治郎 石井藤治 近江吉三郎
椎名仁市 島山 弘 工藤久米治郎
原田源一 原田フデ 椎名 幸行
椎名正男 椎名義男 高橋 武
▽八田 小玉鉄治 伊藤勘四郎
小玉久子 伊藤長之助
▽台御蔵下 伊藤徳蔵 石井 俊一
伊藤清蔵 小玉 栄
▽協乙 伊藤 正 伊藤徳太郎
伊藤清志 伊藤重郎 伊藤キヨノ
伊藤兼蔵 伊藤廣治 小玉寅之助
小林光雄
▽落合 伊藤修蔵 伊藤武之助
伊藤市之助 伊藤鉄雄 伊藤トモエ
菊地千代一 伊藤 昇 伊藤三太郎
伊藤吉男 伊藤鉄三郎 島山金之助
▽高千 小玉末美 小玉久三郎
小玉 勇 小玉定五郎
▽北北口 伊藤 一 伊藤 作夫
伊藤鉄郎 伊藤光作 小玉徳太郎
▽小倉 石井文夫 佐藤ミヨ子
佐藤勝治
▽黒土 石井信之助 松橋堅之助
石井和夫
▽湯ノ又 澤田石五蔵 千葉千代美
畑沢敏郎 原田桂子 畑沢源四郎
小玉甚一 島山キヌ 小玉三治郎
畑沢達雄 阿部チヤ 澤田石兼治郎
伊藤東蔵 沢田石チヤ 沢田石義蔵
畑沢竹之助 沢田石良治 松橋道五郎
沢田石久太郎 沢田石徳三郎
▽小川口 猿田定義 松橋 兼己
▽浅見内 工藤留蔵 猿田 孝一
松橋金一 松橋藤蔵 松橋 勘一
松橋一雄 工藤善勝 松橋トミエ
工藤全蔵 松橋新男 松橋 重雄
工藤武一 松橋利男 工藤孝太郎
工藤朝夫 工藤勇吉
▽大川 嶋崎安雄 伊藤金千加
木村喜之 佐藤善吉 小森金之助
浅野欽三郎 小森正直 浅野慶一郎
伊藤カネエ 嶋崎光吉 大川原源喜
八柳専之丞 館岡晴悦 伊藤 惣三
島崎金之助 伊藤テル 小森 幸三
八柳兼治 北島幸雄 嶋崎喜代治
小野秀敏 伊藤忠雄 鷺谷ミチエ
伊藤章雄 鈴木金夫 八柳 博
渡部隆 青山ユキ 小島屋理久夫
伊藤欽悦 北島 栄 北嶋 キミ
▽下樋口 嶋崎清治 嶋崎 高光
嶋崎七郎
▽石崎 加藤民樹 加藤 孫吉
▽四ツ屋 加藤勝男 加藤 昭男
加藤寛蔵 佐藤万吉
▽西野 小森順一 小森 長蔵
小玉正義 小玉貞治 鈴木善之助
佐藤廣治 千田善吉
▽谷地中 佐藤和利 佐藤 源蔵
佐藤市松 佐藤東蔵 佐藤 甚助
目黒 清 伊藤方子 畑沢 強
以上 五七七名

◇納期内納付納税貯蓄組合一覧

希望ヶ丘第一納税貯蓄組合
田町納税貯蓄組合
田町石田納税貯蓄組合
畑町第一納税貯蓄組合
畑町第二納税貯蓄組合
畑町第三納税貯蓄組合
畑町第四納税貯蓄組合
畑町第五納税貯蓄組合
畑町第六納税貯蓄組合
中川原納税貯蓄組合
森山下つみ納税貯蓄組合
大川第三納税貯蓄組合
大川東屋布第二納税貯蓄組合
大川大川納税貯蓄組合
以上 一二組合

二十五周年記念作文・感想文募集

よりよい郷土づくりに あなたの構想をどうぞ

昭和三十年町村合併して、新五城目町が誕生してから早くも二十五周年を迎えている。

この間、いろいろな紆(う)余曲折を踏まえながら「住みよい町づくり」をめざして頑張り、今日の姿をみているところである。

行政の最終目標は住民の福祉にあると言われるが、これは、ひとり町執行部、あるいは議会だけの力で達成すること至難の技であり、町内のみならずの積極的な参加、あるいは協力や助けをなければ到達できないのは自明の理である。

そこで、この二十五周年を、町発展の節目として、このあと「わが町のあるべき姿」について、町内小・中学生をはじめ一般のみなさんを対象に、次の内容により、二十五周年記念に作文と感想文を募集することになった。

新しいふるさとづくりについてあるいはよりよい郷土の実現をめざして日ごろお考えになっていることをまとめ、ふるって応募ください。

募集要領は次のとおり

●作文募集要領

①テーマ

例「わが郷土」「私たちの町」「わが町のほこり」……

(イ)応募資格

町内小・中学校に在学する児童生徒。

(ロ)原稿枚数

四百字詰原稿用紙三枚。

①学校名、学年、氏名を記入してください。

②応募制限 一人 一点

③原則として、原稿はお返ししません。

●感想文募集要領

(イ)テーマ

例えば「魅力ある町づくり」「アイデア所得倍増」「家庭から出る生ゴミを肥料に」等身近な問題からふるさとの進むべき道をとらえたもので、何をテーマにしても結構です。

(ロ)応募資格 五城目町在住の方に限ります。

(ハ)原稿枚数 四百字詰原稿用紙五枚前後で未発表のものに限ります。

(ニ)住所氏名は正確に記入してください。

審査員

五城目町助役、収入役、各部(室)長

④賞

・作文 小学生

特選(二編) 記念品と賞状
佳作(二編) 記念品と賞状

・作文 中学生

特選(二編) 記念品と賞状
佳作(二編) 記念品と賞状

感想文

特選(二編) 賞金三万円と賞状

佳作(二編) 賞金一万円と賞状
発表ならびに表彰

入選作品は、十一月三日の記念式典当日発表と表彰を行います。なお、作文の特選者は式典席上で朗読発表することとし、感想文については十一月十五日発行の「町広報」で紹介します。

⑤作品募集について不明な点がありましたら式典事務局(TEL②二一〇〇)までお問い合わせください。

結婚披露宴等
相談に応じます

秋田県新生活協議会では、時代に対応した新しい生活習慣づくりをすすめる、特に「結婚披露宴」等の合理化に焦点をあて運動を推進してきています。

このたび、これらの推進方策のひとつとして、秋田市内に合理化の柱としている「会費制」の結婚披露宴についての「相談所」を開設することになりました。

私たちの生活を見直す一環として取り上げたものですが、年々豪華になる結婚用具、衣類、披露宴等で家庭経済の圧迫は相当なものと想像されます。

これらの悩みを持っている県内のみなさんのご相談に応じようというのが、この開設主旨です。お気軽にご利用ください。

一 開設場所
中央相談所
秋田市千秋矢留町一ノ一九
秋田県環境会館内
電話〇一八八三三三二八五一

二 相談所の運営
開設

八月十一日から開設している

②相談員
県新生活協議会や環境会館関係者が相談に応じる

三 相談の方法

①電話、書面、面接のいずれでも結構である

②面接の場合
相談される際は、本人はもちろん、できるだけ両親や実行委員会(または世話人)の代表がいらっしゃる方がいろいろ面からの相談がやり易いと思われる

四 相談日
①面接は、毎週、日、水、金の午後三時から四時三十分とする
②電話の場合は午前九時三十分から午後四時三十分

五 相談の内容

・会費の額・主催・依頼施設・運営組織・予算・事前の準備・実際事後の処理・招待者数・記念品・プログラム・案内状・座席づくり・料理・その他

六 相談料 無料

七 その他

必要な事項は双方で協議

(町政ミ)二通信

九月四日 午前九時～午後三時
・教育振興大会(町内めぐり)
・社会コース(醸造元・製材所等)
・歴史コース(岩野山・石崎遺跡・広徳寺等) (学校教育課)

九月五日 午後六時 広域体育館
・合併二十五周年記念事業、NH

K番組「ふるさとの民謡」公開録画
・長谷川久子 佐々木常雄 浅野千鶴子 田中アエ子 浅野和子 浅野梅若 地元民謡おどり愛好会 番楽など出演 (町長室)

九月六日 午前七時二十分～四十分
・五城目町が、NHKテレビ「ニュースワイド」に登場する。
・弓道教室のみなさんと、永沢御矢師が出演する。 (町長室)

九月七日 午前九時 五小
・五城目小学校運動会 (学校教育課)

九月七日 午後二時 高千公民館
・入通林道改良の見通し・町道舗装などについて (町長室)

九月九日 午前十一時 大川保
・大川保育園孫親餅つき会

九月九日 午後一時 広域体育館
・乳児検診 (保健衛生課)

九月九日 午後一時三十分 町民センター
・民生委員推せん委員会 (住民課)

九月十日 午後一時 広域体育館
・敬老式(全町内) (住民課)

九月九日～十一日 午後一時三十分 第一会議室
・国勢調査調査委員説明会 (企画調整課)

九月十日～十一日 午前九時
・「花いっぱい運動」花だんコンクール審査 (社会教育課)

九月十二日 午前十時(雀)相撲場
・全県高校新人相撲大会 (社会教育課)

九月十三日 午後一時三十分
・町民講座Aコース家庭料理学習 (社会教育課)

九月十四日 午前十時 五小
・全町体育祭 (社会教育課)

九月十四日 午前十一時三十分
・身体障害者研修会(森岳) (社会福祉協議会)

九月十五日 午前九時(雀)広場
・町内対抗総体ゲートボール大会

九月十五日～十七日 青森
・婦人国内研修 (社会教育課)

九月十六日 午前十時 第一(会)
・町議会九月定例会(予定) (庶務課)

九月十六日 午後一時 広体
・三歳児健診 (保健衛生課)

九月十六日 午前八時三十分
・水稲作況調査(全町) (農業委員会)

九月十七日～十八日 午後一時
・婦人病集団検診 富津内、湯ノ又(保健)

九月十七日～十九日
・東北地区農業振興現地研究会 福島市。出席者、農業委員会会長、同代理、県農業会議会議員 (農業委員会)

九月十七日 午後一時三十分
・大川家庭教育学級 (社会教育課)

九月十八日
・東北農政局水田再編奨励費補助金交付事務調査 現地等
これは、転作の現地調査と書類の審査を行うもの。 (農政課)

九月十八日
・市場組合山本町定市場視察研修 (商工観光課)

町内相撲対抗

平ノ下チーム初優勝

町出身の原田さんメダルを寄贈

昔とったきねづか熱戦

八月十六日午前十一時から、雀館運動公園の一角に完成した「相撲場」の竣工式が行われた。

相撲場開きは、神事・テープカットのあと模範相撲で締めた。

そして当日は、全町町内対抗相撲大会も行われた。総合体育大会の種目にもなっているためか、十六チームの出場であった。

この町のスポーツの中で、相撲

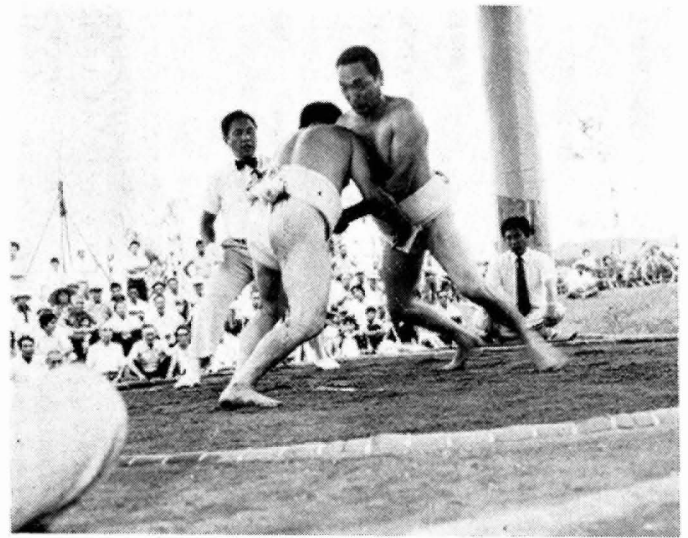
平ノ下チーム完勝

結局、決勝リーグは、高千、中村、平ノ下、帝釈寺の四チームが進出し、本命とみられていた中村が三位になるなどハプニングもあったが、平ノ下チームが全勝で初

の存在はあまり大きくないのが現状である。しかし、年輩のみならずは昔とったきねづか、なかなかの熱戦を展開した。



関係者多数が参加して行われた相撲場開き



熱戦を展開した全町町内対抗相撲大会

優勝、馬場目勢の中でよく健闘した高千チームが準優勝となった。成績次のとおり。

優勝 平ノ下チーム三勝
準優勝 高千チーム二勝一敗
三位 中村チーム一勝二敗
四位 帝釈寺チーム三敗

加賀谷町長は「子どもの足腰を鍛え、しっかりした体力の基礎を身につけさせたい。そのための相撲場である」と強調している。来年度以降ますますこの大会が盛んになることを期待したい。

郷錦（さとしき）故郷に錦を町内対抗の相撲が始まる前、選手たちへ運動公園に鳴り渡るような大声で注意していた人がいた。「相撲は礼儀に始まり、礼儀に終る。ちゃんと整列しなさいッ」本町出身元大相撲に籍を置いた「郷錦（さとしき）」の醜（しこ）名を持つ、原田廣治（63）さんで

あった。

原田さんは開会式のあいさつでも述べた。「私は、日本相撲連盟常務理事として、全国行脚しているが、こんな立派な相撲場は珍らしい。プロの養成道場ではないのだから、どしどし利用して、健全な身心の鍛錬に役立ててほしい。相撲の選手は、まわしをしめたら、はきものをはきな。まわしをしめなくとも上半身裸になれ、それが礼儀だ」

威風堂々たる体で、子どもたちにまわしのしめ方などこまごま注意していた。

今は会社の専務さん

昭和九年にこの町を出て、出羽海部屋に所属し十両まで進んだ郷錦関だが、今は印刷会社の専務さん仕事のかたわら、原田相撲道場を開いて、子どもたちの体を鍛えるため心を砕いている。そして、



原田広治さん

巨人軍の原田選手のおとうさんでもある。郷土の相撲大会がますますさかんになるようにと、勝者に各々連盟名入りのメダルを寄贈して去った。

町内総合体育大会

各種競技に熱戦を展開

近年にない盛り上り

合併二十五周年を契機に、町内対抗総合体育大会を取りあげているが、これは、各町内間のコミニティの推進、あるいはスポーツの底辺拡大をはかりながら、町民の体力づくりをねらいとしたものである。

これまで、家庭バレーボール、ソフトボール、相撲、全町盆踊り大会など終っているが、いずれも各町内会の熱の入れようは大変なもので、近年にない盛り上りを見せている。

初の水泳大会は九月二十三日

このあと、九月十四日の全町体育祭をはじめ、ゲートボール大会、水泳大会、全町駅伝大会など控えているが、特に水泳大会は、この町始まって以来初の記念すべき大会となる。競技内容は次のとおりなので時間をみてプールを利用しながら練習に励んでほしい。

▽出場メンバー（個人・リレー）
小学生一人、中学生から二十歳まで 一人
二十歳から三十歳まで 一人

・三十一歳から四十歳まで 一人
・四十一歳以上 一人 計 五人
各年代とも、自由型二五泳。
▽期日 九月二十三日（秋分の日）
▽場所 屋内温水プール
◎全町駅伝大会
▽期日 十一月二日（日）
▽場所 雀館運動公園 ランニングロード

▽内容

中学生一人、高校生から二十歳まで 一人
二十歳から三十歳 一人
三十一歳から四十歳 一人
四十一歳以上 一人 計 五人

大鵬部屋力士

新設相撲場で合宿練習

八月五日から八日まで、大鵬部屋一行幕下二枚目翔鶴から序二段西四十二枚目謝花まで二十六名がこの町に合宿をした。

これは、雀館運動公園に新設された相撲場を利用してのもので、開場に当たって大相撲の力士のみなさんから、相撲魂を打ち込んでもらった。

大相撲の練習の厳しさは定評のあるところだが、朝五時練習開始朝食抜きで午前十一時に練習を終る。申し合いを入れ替り立ち替り二十番も続けると、ほとんどの力士はまともに立てないぐらいついてしまう。土をなめるようにつんのめつても、気力をふりしほって立ち上る姿は、相撲ファンのおじさんたちに、毎日足を運ばせるほどの魅力があったようだ。

七日には、大鵬親方と同夫人を迎え町民センターで「大鵬部屋を励ます会」を相撲連盟の主催で行った。この合宿を見て、勝負の厳しさは、過酷な練習に耐えた者だけが身につけている特権であることを学んだ人も多そう。

農林漁業金融公庫資金 ①

有利な国の融資制度

町ではいろいろな事業を行う場合、その事業に関連した各資金の融資を受けて行っています。その中の一つで、個人、団体等でも借り受けることのできる「農林漁業金融公庫資金」について、今回から四回にわたりその概要を紹介いたします。

- ・総合施設、畑作営農改善
- ・振興山村、過疎地域経営改善
- ・果樹園経営改善、畜産経営拡大
- ▽基盤整備
- ・土地改良、造林、林道
- ▽一般施設
- ・新規用途、共同利用、指定施設、乳業
- ▽経営維持安定

今回の掲載内容は、公庫資金の種類等を紹介し、次号から具体的な事項について掲載します。資金の種類は次のようなものがあります。

▽資金の種類

- 経営構造改善
- ・農地・未懸地取得、林業経営改善（林地取得）
- ・農業構造改善事業推進

明るい農村はあなたの経営改善から

農林漁業金融公庫秋田支店

受託金融機関 秋田県信連 農林中央金庫秋田支店

水質の汚濁は

合成洗剤中のリンが原因

日常洗たくに用いているほとんどの合成洗剤にはリンが含まれています。このリンを含んだ洗たく排水が河川や湖沼、海に流れまると、水質の栄養分が高くなり、プランクトンや藻（も）が異常発生する原因となります。その結果、水が臭くなったり、魚類が死んだりします。

このようなことから現在、合成洗剤中のリンが全国で問題になっており、滋賀県では昨年十月に条

例を制定して、琵琶湖の水質悪化を防いでいます。県でも今年の八月から県の関係施設で有リン洗剤の使用自粛を行っています。

町内の公共用水域における水質は、特に問題ないと思われていますが、閉鎖性水域である八郎瀉残存湖の汚濁は進行しているといわれています。

有リン洗剤による河川、湖沼などへのリン流入量は微々たるものですが、町内の川や池をきれいな水としていつまでも保つために、各家庭でも石けんや無リン、低リンの合成洗剤の使用を考える必要があります。

・自作農維持、伐採調整、林業経営維持
また、融資内容の特色は次のとおりです。

- ①長期低利の融資です
 - ②国、地方公共団体の政策に密着したものです
 - ③都道府県や民間金融機関による広いサービス網を有しています
- 町はこの公庫資金をよりいっそう理解していただくために、同公庫資金の「活用推進懇談会」と「融資相談会」を九月下旬に開催する予定です。
- 詳しい内容については、役場農政課へお問合せください。

わたしの教員生活 ④

部会体育会

昭和初期の学童体育大会は、郡内七地区（土崎、外旭川、飯田川、五城目、船越、船川、北浦）の部単位で行われた。

大久保校は今年こそ是非でもカップを奪回しようと思えます。感じが上った。話によると学校職員の中で、今年負けたら髪を切ると約束して、背水の陣を敷き、健闘した男教員も数名あったと聞いている。

三吉神社に祈願

このため競技場にも気を配り、これまで種目最後の相撲は三吉神社



豊川、上井河、下井河の五校で行われたが、学校規模から、総合点数で勝負を決めると、常に大久保飯田川が一、二位を争っていた。

昭和五年に大久保の松庭庄左衛門さんから、部会体育会に、優勝カップが贈られ、持回りであるが連続三カ年受賞された学校は、永久にこのカップを納めることができるような申し合せであった。

前年度まで二カ年続けて負けていた飯田川校は、ライバル意識を強め、優勝カップ争奪に拍車がかかった。以前の体育会も、学校同志の競争がおとなの競争をかりたて、特に相撲の種目になると、一般大衆の争となりけんか騒動もたびたびであった。

こんな部会体育大会も、カップ争奪戦の第一回は飯田川校が優勝した。翌年からは父兄や一般社会人の競争意識も強まって、選手練習を応援し、アメ玉やクズ湯等がおくられた。この大会の二年目もまた飯田川校が優勝し、翌昭和七年には、飯田川校が最後の優勝をかけて年度初めから選手の養成

優勝杯をかけてしのぎを削る

中村清次郎



社相撲場で行っていたが、一般観衆が勝負に口入れして、行審判に雪崩込むこともあったので、土俵を競技場のフィールドに特設しトラック競技と平行して行うようにした。

当日飯田川校の選手たちは、校庭で学校長のお話を聞いた後、公園の三吉神社に必勝祈願をして、競技場に向かった。運動開始とともに緊張した大会の種目が次々と進められ心配した混乱もなく、午

写真

三吉神社での

必勝祈願

(著者所有)

後二時半全種目を終了し、総合審査の結果飯田川校が三年連続の優勝を遂げ大カップを受賞した。

気違ひみた行動それでも充実我が校の喜びは筆舌のつくす所ではなかった。全村あげての喜びは四日間も続いた。大会翌日は全校児童職員が校旗、カップを先頭に全村を回り、各部落では踊りや唄で祝賀行事をした。

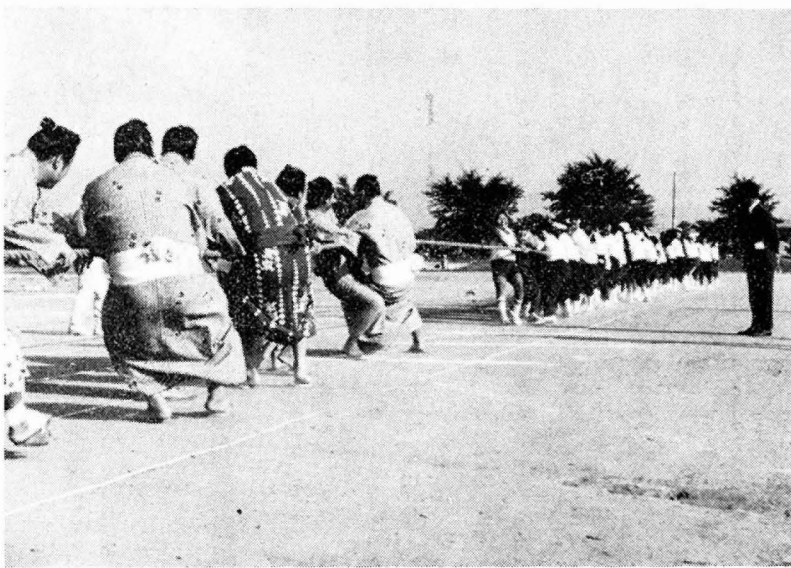
大久保校のさん髪も、後で見せ

— 子どもの祭典 —

おすもうさんと綱引き

今年で十回目を迎えた「子どもの祭典」は、八月七日午後四時から五城目小学校グラウンドで、大相撲大鵬部屋のおすもうさんたちを招待して行われた。このおすもうさんたちは、八月五日から町民センターで合宿していたもので、大鵬親方、同夫人と三人の娘さんも列席した。

会場に集まったのは町内の小学五・六年生と中学生千二百人で、さつそく五十人以上の子どもたちとおすもうさんの綱引きが行われ



おすもうさんとの綱引きは子どもたちの勝ち

た。結果は二勝一敗で子どもたちの勝ちとなり、大きな歓声と拍手がおこった。

また、昨年招待して好評であった秋田県警察音楽隊も訪れ、テレビドラマの主題歌などを演奏して子どもたちに喜ばれた。

午後七時過ぎからはキャンプファイヤーが始まり、杉沢中の佐々木理香さんが「大地に燃えあがる聖火をいつまでも心の中に」としながら、この祭典で培われた友情と勇気を、これからの学校生活や

社会生活に生かしていきます」と誓いのことを述べた。続いて会場いっぱい広がり、子どもたちのトーチに次々に火がともされた。

最後に六十発の花火が打ち上げられ、子どもたちにとって夏休みの楽しい思い出となった。

秋田県小学校クラブ野球大会

五小一回戦で惜敗

― チャンスにあと一打が―

石井主将堂々の宣言

八月十四日から十六日まで、八橋と県立両球場を会場に、第十一回秋田県小学校クラブ野球大会が行われた。

十四日・八橋球場で行われた開会式では、優勝旗の後に続く五小チームはトップで堂々の入場行進であった。選手宣誓は、五小主将石井智明君が十六チームを代表して行い、新装なった球場に誓いの言葉が高らかにひびきわたった。

惜しかった二回裏の一点

五小 0001000—1
宿小 020001X—3

五小は一回戦由利郡代表の宿小学校と対戦した。

二回裏までは投手戦が予想されるほど両チームの投手は好投した。その裏である。宿小の四番を三振に打ちとったあと、五番三塁オーバーヒット、続いて二盗、六番レフトに達するゴロ、この間一点先取される。七番をショートゴロで二死。八番ツースリーからワンバウンドを振らせてアウト。選手は引き上げてきたが、このとき、

捕手がノータッチということで、相手ランナーがホームを踏んで二点目。やらずもがなの一点であった。

四回表一点にとどまる

五小は四回表、一死のあと、五番セクター前ヒット、六番セクターゴロエラーで一・三塁、七番のフリーストゴロで一点を返す。

しかし、六回裏宿小は三塁打二本、三塁ゴロ悪送球などで追加点をあげたため押しをした。

あと一打があれば

楽勝のケース

五小ナインは総じてプレーがたく、力を出しじまだった。三塁に押えた佐藤の好投に、もっと援護射撃がほしいかった。

宿小学校は、全校生徒七十五名の小規模校であったが、四年ぶり二度目の県大会出場で、石綿選手の好投手、好打者の試合巧者ぶりが目立つチームであった。

五小にも再三のチャンスがありあと一打があれば楽勝のケースであったが、この無念さをふまえて来年また頑張ってほしい。

馬場目地区で初の駅伝大会

町村一回目の優勝を飾る

― 女性選手も健闘 ―

八月十四日、第一回馬場目地区部落対抗駅伝競走大会が行われた。一周九・八キロのコースを、六チーム三十六人でその健脚を競った。成績は、二位帝釈寺チームに一分十八秒の差をつけて、町村チームが初優勝した。

この大会は、お互いの健康の増進はもちろん、日ごろ遠ざかりが

ちなコミュニケーションの推進に役立てようとしたものである。

選手の選出内容も、一区中学生二区五十代、三区四十代、四区高校生、二十代、五区三十代、六区高校生、二十代といった方法をと

り、コースは、馬場目児童館前をスタートに、帝釈寺、町村、蓬内台、水沢バス停、平ノ下橋、中村寺庭を経由して、馬場目児童館前が決勝点となった。

大会の選手はほとんど男性軍であったが、この中で、石井延子(二四)さんと越高友子(一八)さんの二人の女性が奮闘し、沿道の

優秀作品は「あきたの文芸」に

文芸作品を募集

県教育委員会では「あきたの文芸」に載せる文芸作品を次の内容で募集しています。

▼募集作品(部門)

詩………本文 四〇字以内
短歌………詠草 一〇首
俳句………雑詠 一〇句
川柳………雑詠 一〇句
小説(児童文芸・戯曲を含む)
………四〇〇字詰原稿用紙で
………三〇枚前後を基準
評論(文芸研究を含む)
………四〇〇字詰原稿用紙で
………三〇枚前後を基準

※各部門とも作品題は自由であるが、必ず題名をつけること。

▼応募上の注意

・応募作品は、すべて四〇〇字詰原稿用紙(B4版、西洋紙大)にかいて書で記入すること
・応募原稿の一枚目に次の事項を記入すること

応援者からさかんな声援がもくられていた。

初めての試みだけに一般の人はあまり予想してなかったが、各部チームを応援する人々がお盆休みとあってどっとくり出し、主催者側は殊の外の人出に「来年からもぜひ続けていきたい」と気をよくしていた。

成績は次のとおり。
一位 町村チーム 三三分〇四秒
(伊藤勝彦 石井 進 伊藤鉄巳 伊藤真紀 伊藤道春 宮崎博之)
二位 帝釈寺 三四分二二秒
三位 平ノ下 三五分三三秒

①応募部門
②作品題名
③作者名：ペンネームの場合は本名を()書きにする

④住所
⑤性別
⑥年齢
⑦職業
⑧連絡電話番号
⑨所属同人誌名
⑩作家歴
・応募作品はすべて未発表のものであること

▼応募資格

県内在住者で満二十歳以上

▽原稿締切り

十月末日

▽原稿送り先

〒〇一〇

秋田市山王四丁目一〇二

秋田県教育庁文化課

「あきたの文芸」係

電話 〇一八八 (60) 2224

※募集要項希望の方は五十円切手貼付の返信用封筒を同封して、県教育文化課へ申し込むこと。



【おしらせ】

婦人病(子宮がん)検診

婦人病(子宮がん)の検診を富津内地区と内川地区で行います。受診結果は、二十日以内に本人に届きます。

日程

- ・9月17日(水)
午後1時~2時(受付)
富津内落合公民館
- 午後2時30分~3時(受付)
富津内児童館
- ・9月18日(木)
午後1時~2時(受付)

交通事故の相談は

お気軽に

痛ましい交通事故のニュースが毎日のように報じられています。最近では保険契約の内容も多様化し、事故の原因も複雑化しています。また、センター委員の弁護士が、解決などで困っている人も多く、懇切におこたえします。

秋田自動車保険請求相談センター

秋田自動車保険協会

相談無料

秋田市中通二一、四四 河北ビル五階
秋田 調査 事務所内
直通 〇八八-二二七九
〇八八-二二七九

消防設備士試験の講習会

消防法第十七条の八の規定に基づく昭和五十五年度の試験は十一月六日(木)に行われますが、これに伴う講習会は次のとおり行われます。

講習日および講習の種類

- ・十月十三日(月)
第一類(甲、乙種)
- ・十月十四日
第四類(甲、乙種)
- ・十月十六日
第七類(乙種)
- ・十月十七日
第六類(乙種)
- ・講習の場所および時間
・場所 秋田市山王四一ー一
秋田県庁正庁
・時間 午前十時より
午後四時三十分まで

受講手続

九月十六日から九月二十九日まで秋田県消防防災課内、秋田県消防設備保守協会に提出してください。

入国警備官募集

入国警備官を募集しています。入国警備官は、各地の入国管理事務所、同出張所、入国者収容所において次のような業務に従事します。

- ・不法入国者や不法残留者などの違反事件の調査
- ・収容令書または退去強制令書を

発付された外国人の収捕、収容護送、送還

入国者収容所などの警察における被収容者の処遇、施設設備

受検資格

昭和32年4月2日~昭和38年4月1日生れの男子

受付期間

8月29日~9月11日(消印有効)

試験日

第一次 10月26日
第二次 10月27日

▽問合せ先 仙台入国管理事務所
〒983
仙台市五輪二丁目三二〇
電話 0222(56) 6076

老人ホームによせられた善意

美容奉仕

秋田県美容環境衛生
同業組合南秋支部

八月一日

野菜・漬物
天王町児玉 佐藤 ヨネ

八月十日

まき寿し 大川 若妻部

八月十三日

なまうどん 42人分
上樋口 猿田源三郎

八月十三日

大湯八郎のレコード・色紙
大川四区 加藤ハナエ

善意銀行

・七月十四日
三万円 御蔵町 栗山千代志
(亡父鏡之助様の香典返しとして)

・七月二十二日
盲目用腕時計 一個
一番町 佐藤 テル

・七月二十三日
二万円 大川 浅野 信一
(亡父辰蔵様の香典返しとして)

・七月二十六日
三万円 浦横町 大宮 勲
(亡父時之助様の香典返しとして)

・八月六日
三千六百十五円
五城目町商工青年部

(商工青年部の昭和五十四年度事業による収益金を寄附したもの)

・八月七日
一万五千元
浅見内五区 松橋 鉄美

(亡父多助様の香典返しとして)

誕生

おめでと

ございます



大川一區 伊藤 徹 7、6

三喜夫 エツ子 二男

湯ノ又 畑沢 千穂 7、14

兼道 紀子 二女

湯ノ又 畑沢 睦美 7、19

清美 てつ子 二女

畑町 大山真理子 7、20

勇一 恵子 長女

浦横町 小野 夏子 7、26

久保 一関 祥平 7、26

平ノ下 田仲 勇樹 7、28

小野台 石井 良 8、2

中村 佐藤 千春 8、2

中村 兼光 千江子 長女

下樋口 伊藤 麻紀 8、4

正悦 春子 長女

笹尾 達也 8、4

幸四郎 望子 長男

中村 小玉 葵 8、5

正行 洋子 長女

谷地中 佐藤美穂子 8、5

米吉 ちさ子 長女

今町 清水 華子 8、6

清孝 昱子 長女

一番町 原田 公生 8、9

昭作 守子 長男

富田 阿部 博之 8、9

善道 誠子 二男

おくやみ 申し上げます

大川二区 小原奈穂子 8、15

隆 礼子 長女

七月

二八日 工藤 惣市 81下樋口

二九日 鳥井 勝蔵 73上樋口

一日 二木 ナヲ 74一番町